

バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井市体育館 Fコート

試合区分: No. 20 少年男子 2回戦

期 日: 2018(H30)年10月2日(火)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30

主審: 富士 将史(北海道)

副審: 山本 一榮(福井)



長野 (北信越)	○ 87	22 — 20 14 — 17 24 — 20 27 — 22 — —	● 79	静岡 (東海)
------------------------	----------------	----------------------------------------------------	----------------	-----------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	北村 孝太	14	1	5	1	5	1	5
5		星野 颯太	—	—	—	—	—	—	—
6		系瀬 公平	5	0	2	1	1	1	0
7		渡辺 大佑	0	0	0	0	0	2	2
8	*	西村 慶信	20	4	3	2	3	4	1
9		名倉 慎之助	—	—	—	—	—	—	—
10	*	米山 ジャバ俣生	9	1	2	2	4	6	0
11		加藤 峻	—	—	—	—	—	—	—
12	*	黒川 虎徹	15	1	4	4	1	5	3
13	*	高原 伊吹	24	2	5	8	4	16	3
14		百目木 翔馬	—	—	—	—	—	—	—
HC 入野 貴幸 / TEAM									
合計			87	9	21	18	18	35	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	神田 駿仁	3	0	1	1	3	5	3
5	*	杉山 裕介	14	0	5	4	4	4	3
6	*	田中 勇樹	10	1	3	1	4	0	1
7		関屋 心	28	1	10	5	2	3	3
8		山村 祥太郎	0	0	0	0	1	1	1
9	*	菊地 広人	5	1	1	0	1	1	1
10		今井田 大輝	3	0	0	3	1	1	0
11		永井 涼也	0	0	0	0	0	0	0
12		リュウ ヤハオ	4	0	2	0	0	6	1
13		市川 真人	0	0	0	0	0	0	0
14	*	セコウ デュクレ	12	0	6	0	2	6	2
HC 後藤 正規 / TEAM									
合計			79	3	28	14	18	27	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド 両チームマンツーマンディフェンスでのスタート。長野県は#13の1対1や#8のミドルシュートなどで得点する。また、ボールを奪ったからの速攻も光った。対して静岡県は#14を起点として、そこから#5にパスをだしたり、ドライブから外にパスをだして#7がミドルシュートを決めて得点した。22-20で終了。
第2ピリオド 両チームがそれぞれのスタイルでゲームメイクをし、一進一退の攻防が続いた。長野県が残り17秒で得たフリースローを#13が落ち着いて2本を決めたのに対して、静岡県も残り0.3秒で#10の3Pシュートに対するファウルで得たフリースローを3本決めた。36-37 静岡県が1点リードで前半終了。

第3ピリオド 長野県は#13の3Pシュートなどで引き離しにかかる。対して静岡県はなかなかシュートが決まらず苦しい展開。しかし、#13がファウルトラブルでベンチに下がった後、静岡県は#7がドライブやミドルシュートを連続で決めて追いつく。60-57で終了。

第4ピリオド 静岡県はゾーンプレスを時々しかけながら#7の3Pシュートやドライブで一時逆転するも、長野県は#10が静岡県の#14をしっかりマークし流れを殺さない。次第に#4、#8、#13がミドルシュート、3Pシュート、ドライブを決め、残り2分で10点差をつけた。静岡県は最後まであきらめないバスケットで闘志をみせたが、長野県は落ち着いたパス回しでそのまま逃げきった。87-79で長野県が勝利した。

担当者: 嶋田 直樹((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

